

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小4

社会

水はどこから

**オクリンクプラス**  
 選択肢集計

 授業  
 内容

子供たち一人一人や学校全体ではどのくらい水を使っているか考える

準備：

- ・共有コードを使用してカードを取得する。
- ・カード②に、実際に学校で使っている水の量を水道の検針票などを元に準備する。
- ・授業を作成し、カード①を送信する。
- ・みんなのボードに、「1日に使う水」「校内の水道」のボードを用意する。

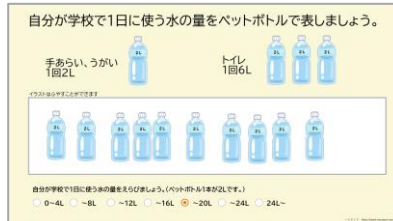
授業の流れ：

1. マイボードに配付されたカード①に、自分が学校で1日に使う水の量をペットボトルのイラストを使って表し、選択肢から自分が使う水の量を選び、みんなのボードの「1日に使う水」に送る。
2. 選択肢集計の結果を見て、1日に1人が使うおおよその水の量を確認する。
3. 配付されたカード②を見て、実際に学校全体でどのくらいの水の量を1日に使っているか確かめ、1人当たりの水の使用量も見て、2で確認したカード①の結果と比較する。
4. 学校では個人の利用以外にどのような場所で水を使っているか話し合い、水をよく使う場所や撮影可能な水道関連設備の写真を撮り、カード③を作成して、みんなのボードの「校内の水道」に送り、共有する。
5. ふりかえりをノートやカード④を使って行う。

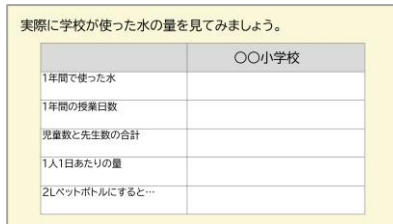
 サポータ  
 おすすめ  
 ポイント


- ・自分が学校で使う水の使用量を、ペットボトルの絵で視覚的にイメージすることができます。また、選択肢集計の結果から、個人で使っている水の量がどのくらいかおおよその量を考えることができます。
- ・大量に水を使うことが分かったことで、蛇口の元にはどのくらいの水があるかという疑問が沸き、浄水場見学に向けて意欲が高まります。

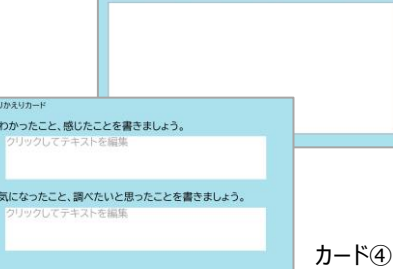
カード①：作成例



カード②



カード③



カード④

共有コード

 共有コードを入力、または  
 カメラを起動して  
 二次元コードを読み込む


pb01JW33HZFCZCV9ZRKAMM30M1S5